



地域元気指数

コロナ禍で「地域の元気」と「住民の幸せ」の質に変化

賑わいの減退、地域住民の集いの場の減少が「元気度」「幸せ度」押し下げ
一方で、地元の生活が再評価され、地域に「あるもの探し」が表面化

全国「地域元気指数調査2020」発表

株式会社アール・ピー・アイ(所在地:千代田区 代表取締役:長澤 博英)は、**住民自身が地域の元気度、幸せ度を評価する「全国『地域元気指数調査』」**を2016年より毎年実施しています。

5回目となる今回は、コロナ禍で「地域元気指数」「幸せ指数」が昨年度から減少しました。

このこと背景には、新型コロナウイルスの影響により、外国人観光客、国内観光客、新しい店や施設など賑わいに関わるもの、地域の祭りやイベントなどコミュニティに関わるものに対する住民の評価の低下があります。その反動か、地元の生活を改めて見直す意識が高まり、地域の外よりもむしろ内側に目を向け、独自の魅力や資源を再評価する「あるもの探し」の動きが表面化しつつあることが明らかになりました。

■「地域元気指数」「幸せ指数」とは

全国の男女約10万人を対象に、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気か、自分がどのくらい幸せかを1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。指数に換算することで地方公共団体などの施策立案などに活用されています。

[調査サマリー]

■地域元気指数、幸せ指数ともに減少。地域元気指数に比べて幸せ指数の減少幅は小さい。

2019年から2020年で、**地域元気指数(5.66→5.52)**、**幸せ指数(6.10→6.04)**ともに減少。ただし、地域元気指数に比べて幸せ指数の減少幅は小さい。幸せ指数が増加している地域もある。

■コロナ禍で、地元の生活が再評価され、地域に「あるもの探し」が表面化。

昨年度に比べ評価が高まった要素は、「地元で買い物する人が多い」「行政の首長や職員に熱意がある」「買い物がしやすい」などで、コロナの影響により、**地元の生活を改めて見直す意識が高まっている**。また、「地域のことを深く知り学んでいる」「大切に守り続けたい地域資源がある」「自慢したい地域のモノ・コトがある」など、**回答者自身の地域の良さを生活に取り入れる**ことに価値を感じるようになってきた。

■観光、賑わいの減退によって地域の「元気度」「幸せ度」が変化し始めている。

昨年度に比べ評価が低下した要素は、「外国人観光客」「国内観光客」「新しい店や施設」など賑わいに関わるもの、「地域の祭りやイベント」などリアルなコミュニティに関わるもので、**賑わいの減退や地域住民の集いの場の減少**が、地域の元気度や個人の幸せ度を下げているといえる。

■生活関連施設・サービスの充実が、地域の元気や個人の幸せに最重要。

地域の元気度と住民の幸せ度を特に大きく左右した要因は、「生活環境で困ることが少ない」「子育て・教育環境が整っている」「公共施設が充実」など、【住みやすさ】に関わる要素であった。**生活関連施設・サービスが充実していることが、元気を感じたり、幸せを感じる最重要ポイント**であるといえる。

本リリースの調査データを以下にアップしております。

https://rpi.co.jp/chiiki-genki/genki_summary/

●全国「地域元気指数調査2020」に関するお問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル3階
E-mail:genki@rpi.co.jp 電話:03-5212-3411

地域を元気にしたい。
RPI Regional Planning Institute

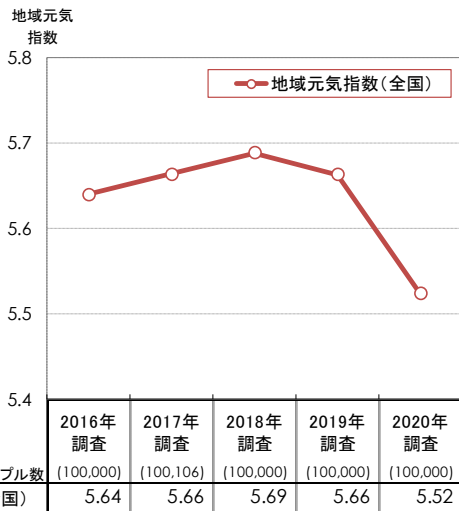
コロナ禍で、地元の生活が再評価され、地域に「あるもの探し」が表面化

2019年から2020年で、地域元気指数(5.66→5.52)、幸せ指数(6.10→6.04)ともに大きく減少。ただし、地域元気指数に比べて幸せ指数の減少幅は小さく、幸せ指数が増加している地域もある。

昨年度の調査結果を“beforeコロナ”における住民の評価とすると、今年度の調査は“withコロナ”における評価といえる。昨年度に比べ、「地元で買い物する人が多い」「行政の首長や職員に熱意がある」「買い物がしやすい」などの回答割合が高くなっており、コロナの影響で、地元の生活を改めて見直す意識が高まったとみられる。また、「地域のことを深く知り学んでいる」「大切に守り続けたい地域資源がある」「自慢したい地域のモノ・コトがある」など、地域の外よりもむしろ内側に目を向け、独自の魅力や資源を再評価する「あるもの探し」の動きが表面化しつつある。

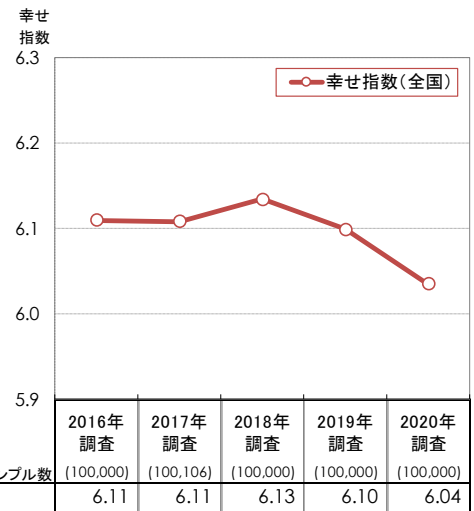
一方、昨年度に比べ、「外国人観光客」「国内観光客」「新しい店や施設」など賑わい関連や、「地域の祭りやイベント」などコミュニティに関する要素の回答割合が低下しており、賑わいの減退や地域住民の集いの場の減少が、地域元気指数や個人の幸せ指数を押し下げている。

■地域元気指数の推移



※地域の元気度を10段階で尋ね、その平均値を「地域元気指数」とした

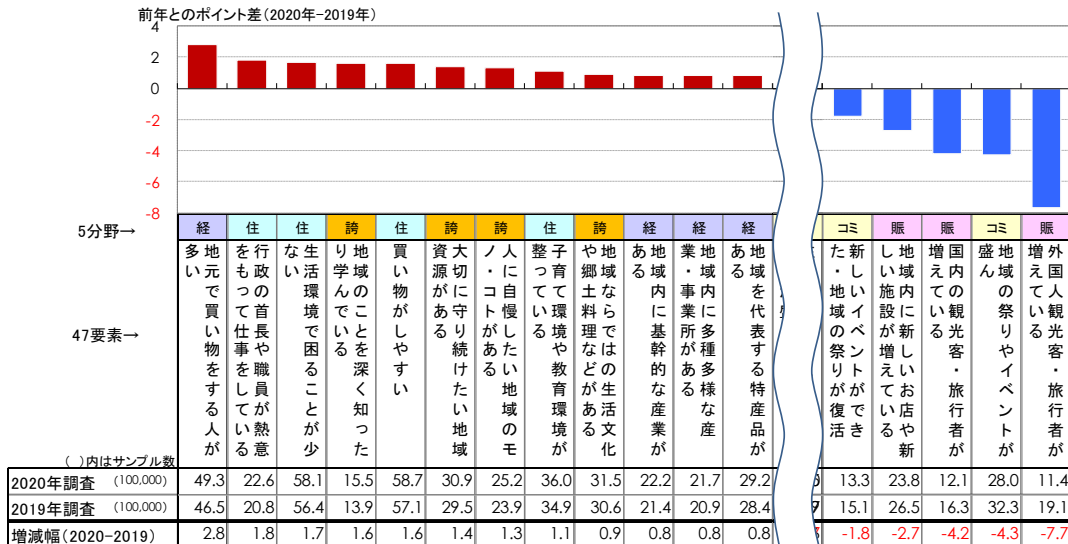
■幸せ指数の推移



※個人の幸福度を10段階で尋ね、その平均値を「幸せ指数」とした

■5分野47項目のうち昨年より割合の高まった要素上位10、低下した要素上位5

※「5分野47項目」の詳細は5ページ参照



※前年とのポイント差(2020年-2019年)で並び替え

2. 元気の要因と幸せの要因

全国「地域元気調査2020」

生活環境、子育て・教育環境、公共施設・行政サービス等の生活関連施設・サービスの充実が、地域の元気や個人の幸せをもっとも左右する。

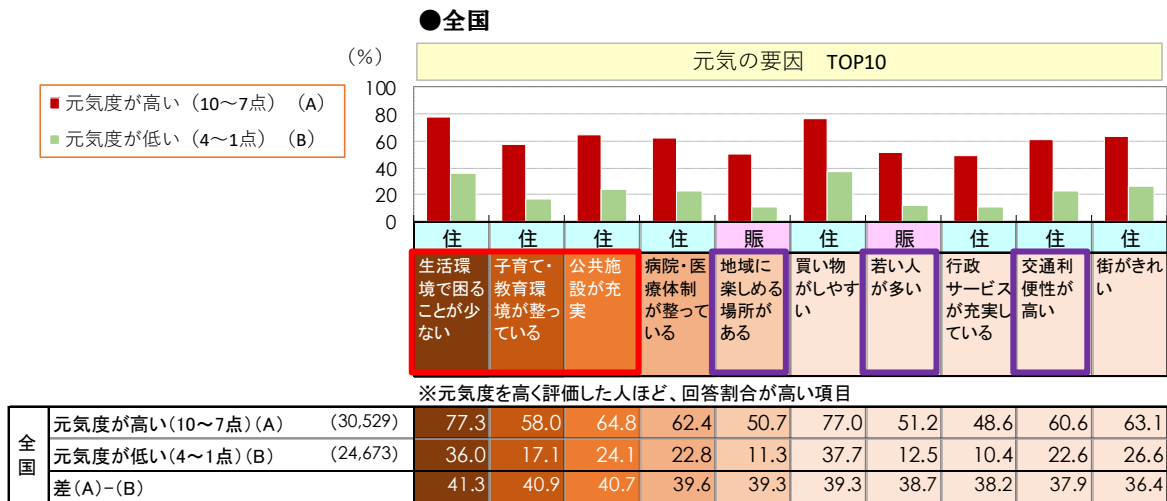
【賑わい】は地域の元気を高め、【生き生きとしたコミュニティ】は個人の幸せ感を高める。

元気度や幸せ度を高く評価した人と低く評価した人で、どの要素に差が出るか分析を行った。差が大きいものほど、元気度や幸せ度を大きく左右する要因と考えられる。

地域の元気度、個人の幸せ度ともに、差の大きな要因は、「生活環境で困ることが少ない」「子育て・教育環境が整っている」「公共施設が充実」など、【住みやすさ】に関わる要素であった。生活関連施設・サービスが充実していることが、元気を感じたり、幸せを感じたりするための最重要ポイントであるといえる。

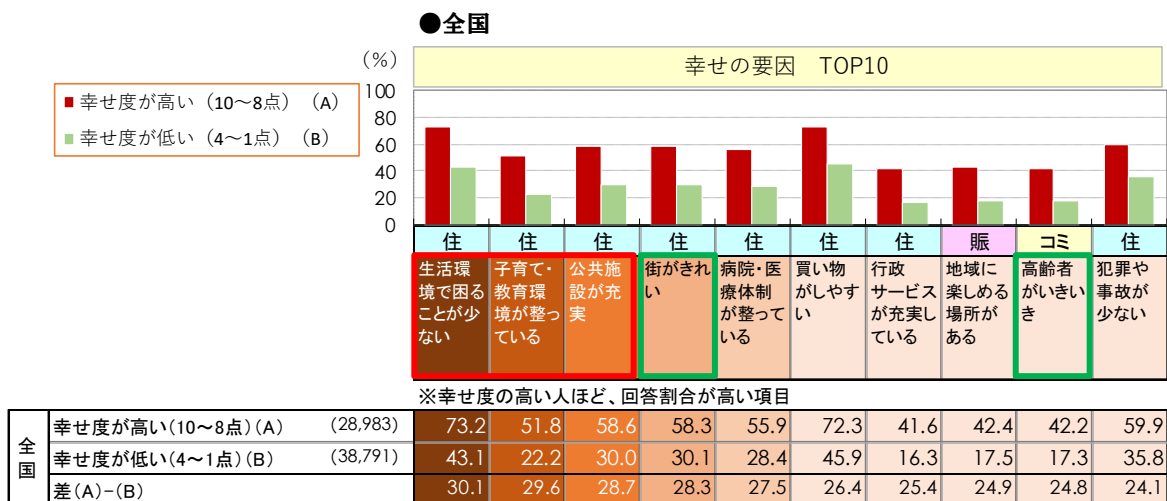
また、「地域に楽しめる場所がある」「若い人が多い」など、元気度には【賑わい】が大きく影響している一方、「高齢者がいきいきしている」など、幸せ度には【コミュニティ】に関わる要素が影響することがわかった。

■元気度に差が出る要因 上位10



※「当てはまる」と「やや当てはまる」の合計値 (構成比: %)
 ※元気を高く評価した人と低く評価した人の回答割合の差が大きい順でソート

■幸せ度に差が出る要因 上位10



※「当てはまる」と「やや当てはまる」の合計値 (構成比: %)
 ※幸せ度の高い人と低い人の回答割合の差が大きい順でソート

<参考> 元気度・幸せ度ランキング

全国「地域元気調査2020」

■元気度 都道府県ランキング ()内は前年調査結果

順位	都道府県名 サンプル数	地域元気指数
1位 (2位)	東京都 n=5,403	5.90 (6.06)
2位 (1位)	沖縄県 n=1,291	5.83 (6.19)
3位 (4位)	神奈川県 n=3,296	5.81 (6.03)
4位 (3位)	福岡県 n=3,748	5.79 (6.04)
5位 (9位)	兵庫県 n=4,042	5.74 (5.81)
6位 (6位)	京都府 n=1,997	5.70 (5.89)
7位 (5位)	愛知県 n=7,080	5.67 (5.90)
8位 (7位)	大阪府 n=6,227	5.66 (5.88)
9位 (11位)	滋賀県 n=1,811	5.63 (5.77)
10位 (10位)	広島県 n=1,748	5.56 (5.78)
全国平均 n=100,000		5.52 (5.66)

■幸せ度 都道府県ランキング ()内は前年調査結果

順位	都道府県名 サンプル数	幸せ指数
1位 (15位)	沖縄県 n=1,291	6.28 (6.16)
2位 (2位)	京都府 n=1,997	6.25 (6.31)
3位 (1位)	滋賀県 n=1,811	6.21 (6.35)
4位 (3位)	奈良県 n=2,204	6.19 (6.30)
5位 (14位)	兵庫県 n=4,042	6.17 (6.18)
6位 (24位)	和歌山県 n=1,083	6.16 (6.07)
6位 (20位)	香川県 n=1,038	6.16 (6.10)
6位 (24位)	山口県 n=1,462	6.16 (6.07)
9位 (10位)	鹿児島県 n=1,039	6.14 (6.24)
9位 (31位)	東京都 n=5,403	6.14 (5.98)
全国平均 n=100,000		6.04 (6.10)

■元気度 市ランキング ()内は前年調査結果

順位	市名 サンプル数	地域元気指数	市規模
1位 (1位)	愛知県長久手市 n=183	7.02 (7.20)	5万人以上の市
2位 (9位)	東京都武蔵野市 n=227	6.63 (6.66)	10万人以上の市
3位 (16位)	大阪府箕面市 n=206	6.57 (6.51)	10万人以上の市
4位 (13位)	石川県野々市市 n=141	6.56 (6.55)	5万人以上の市
5位 (18位)	沖縄県豊見城市 n=80	6.46 (6.49)	5万人以上の市
6位 (5位)	千葉県浦安市 n=206	6.45 (6.75)	10万人以上の市
7位 (12位)	神奈川県海老名市 n=190	6.41 (6.57)	10万人以上の市
7位 (9位)	福岡県大野城市 n=194	6.41 (6.60)	5万人以上の市
7位 (3位)	兵庫県西宮市 n=237	6.41 (6.80)	30万人以上の市
10位 (11位)	茨城県守谷市 n=145	6.40 (6.59)	5万人以上の市
ランキング対象「市」平均 n=78,937		5.59 (5.74)	

■幸せ度 市ランキング ()内は前年調査結果

順位	市名 サンプル数	地域元気指数	市規模
1位 (33位)	三重県いなべ市 n=57	6.84 (6.49)	5万人未満の市
2位 (7位)	山梨県都留市 n=51	6.74 (6.65)	5万人未満の市
3位 (17位)	沖縄県豊見城市 n=80	6.67 (6.55)	5万人以上の市
3位 (499位)	大分県日田市 n=79	6.67 (5.79)	5万人以上の市
5位 (149位)	埼玉県志木市 n=133	6.65 (6.27)	5万人以上の市
6位 (2位)	石川県かほく市 n=63	6.63 (6.83)	5万人未満の市
6位 (70位)	鹿児島県始良市 n=92	6.63 (6.40)	5万人以上の市
6位 (389位)	岡山県瀬戸内市 n=77	6.63 (5.93)	5万人未満の市
9位 (127位)	東京都東大和市 n=143	6.61 (6.30)	5万人以上の市
10位 (22位)	大阪府箕面市 n=206	6.59 (6.53)	10万人以上の市
ランキング対象「市」平均 n=78,937		6.04 (6.11)	

■元気度 町村ランキング ()内は前年調査結果

順位	町村名 サンプル数	地域元気指数
1位 (1位)	福岡県新宮町 n=70	6.95 (7.27)
2位 (4位)	熊本県菊陽町 n=73	6.62 (6.68)
3位 (5位)	沖縄県南風原町 n=52	6.52 (6.59)
3位 (57位)	長野県御代田町 n=22	6.52 (5.79)
5位 (35位)	広島県海田町 n=62	6.43 (6.00)
6位 (20位)	静岡県長泉町 n=71	6.41 (6.24)
6位 (42位)	福岡県篠栗町 n=54	6.41 (5.92)
8位 (7位)	沖縄県八重瀬町 n=39	6.40 (6.44)
9位 (19位)	北海道芽室町 n=21	6.38 (6.25)
10位 (25位)	宮城県利府町 n=82	6.31 (6.13)
ランキング対象「町村」平均 n=9,884		5.40 (5.47)

■幸せ度 町村ランキング ()内は前年調査結果

順位	町村名 サンプル数	地域元気指数
1位 -	北海道美瑛町 n=20	7.27 -
2位 (2位)	沖縄県西原町 n=42	7.20 (7.16)
3位 (8位)	福岡県新宮町 n=70	7.11 (7.05)
4位 -	北海道白老町 n=20	7.07 -
5位 (47位)	埼玉県越生町 n=20	7.05 (6.35)
6位 (27位)	大阪府豊能町 n=36	7.00 (6.58)
7位 (25位)	青森県藤崎町 n=26	6.99 (6.62)
8位 (33位)	熊本県菊陽町 n=73	6.92 (6.47)
9位 (13位)	佐賀県有田町 n=20	6.91 (6.86)
10位 (1位)	長野県御代田町 n=22	6.90 (7.40)
ランキング対象「町村」平均 n=9,884		6.06 (6.12)

※ランキング対象市町村の基準

- 市: サンプル数が50件以上かつ人口3万人以上
- 町村: サンプル数が20件以上かつ人口1万人以上
- ※東京特別区部は、一体でカウント
- ※人口規模は、平成27年国勢調査時点での人口で分類

■ランキング対象市町村数(2020年10月1日時点)

- 市: 611(全市の77.0%)
- 町村: 228(全町村の24.6%)
- 計: 839市町村



～地域元気指数調査とは～

「地域元気指数(地域元気度)」は、全国の男女約10万人を対象に、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気を1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。

また、郷土愛や経済、住民交流など5分野全47項目にわたる設問を通じ、地域元気度の源を探る手がかりを提供しています。

「幸せ指数(幸せ度)」は、同調査において、自分がいまどのくらい幸せかを1～10点で自己評価してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。

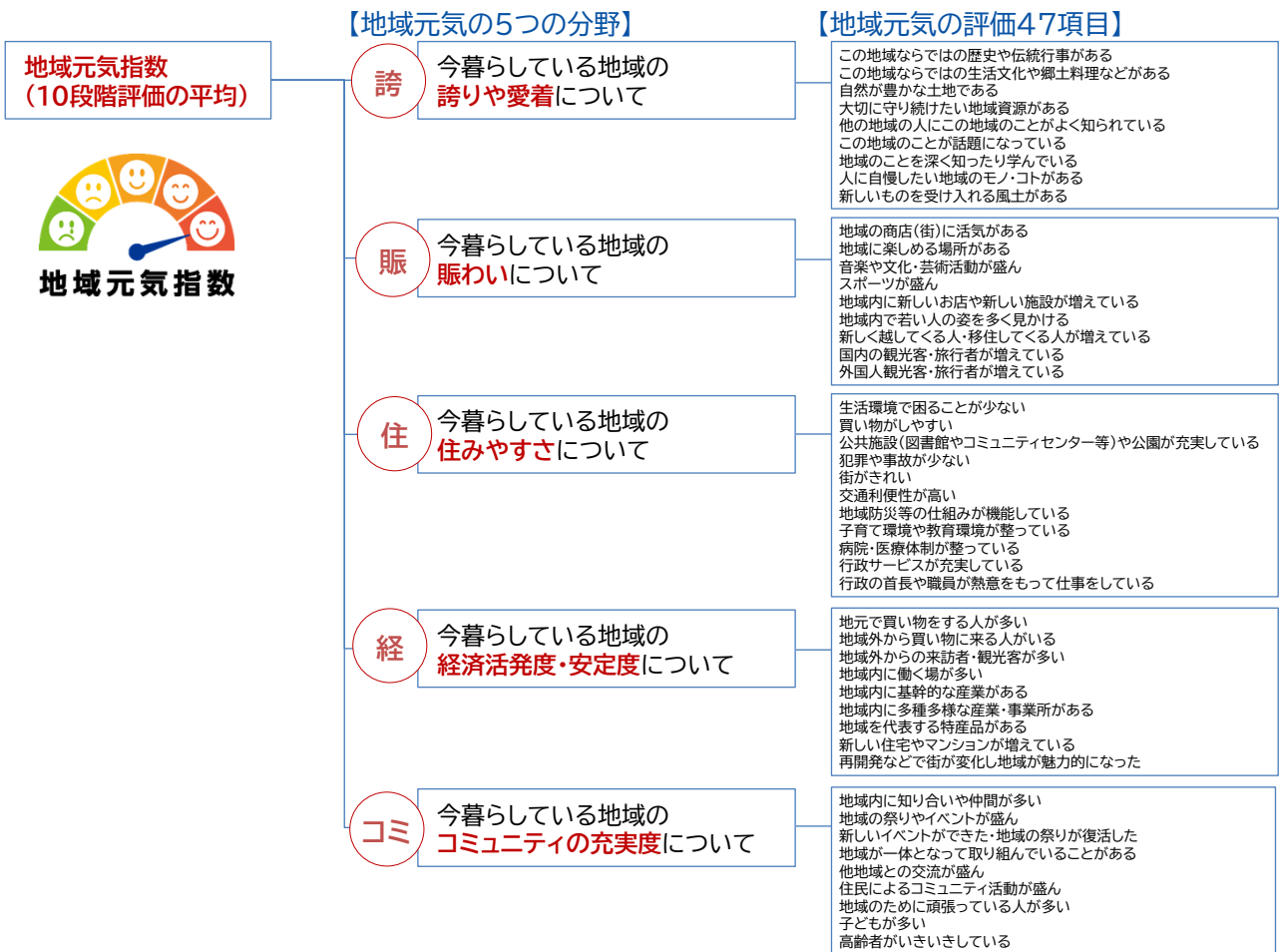
住民自身による評価を「見える化」し、全国における位置や経年変化を把握することのできるユニークな基礎調査として、学術研究分野や国・地方公共団体の施策立案などで活用されています。

調査概要

- 【調査方法】 インターネットによる調査(マクロミルモニター)
- 【調査対象】 全国20～69歳の男女
- 【調査時期】 2020年8月4日～8月17日
- 【サンプル数】 1次調査 100,000人
- 【集計方法】 平成27年国勢調査に基づき、全国の市区町村人口規模別30区分×男女×年代3区分＝180区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行った。

「地域元気指数」の構成要素

「地域元気指数(地域元気度)」は、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気を1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。また、郷土愛や経済、住民交流など5分野全47項目にわたる設問「地域元気の評価要素」を通じ、地域元気度の源を探る手がかりを提供しています。



「地域元気指数調査」の活用イメージ

本調査結果は、都道府県別・市町村別にアウトプットし、各地域の地域運営に資する有益なデータとして活用していただくことが可能です。例えば、地域元気の評価47要素を詳細に分析することによって、各地域の元気を支える要因や、弱い項目＝地域課題を明らかにし、これからの施策立案や地域住民との相互理解に役立てることが出来ます。また、経年調査であることから、施策のKPI(重要業績評価指標)のひとつとして、効果検証や進捗管理等への活用も期待できます。

株式会社アール・ピー・アイのご紹介



アール・ピー・アイは「まちづくり」を中心とした、調査・コンサルティング・事業プロデュース・運営サポートを行う会社です。私たちは地域づくりのさまざまな分野、場面において、地域が抱えるテーマに対し、ともに最適解を導きだし課題を解決する、グッドパートナーとしてチカラになることを目指しています。私たちは、地域を元気にし、より多くの人々が幸福な生活をおくることのできる地域社会の実現に向けて、これからも労を惜しまず、情熱をもって努力し続けます。